



2023年8月9日

各 位

会社名 株式会社 デイトナ  
代表者 代表取締役社長 織田哲司  
(証券コード 7228、東証スタンダード)  
問合せ先 取締役経営企画室長 杉村靖彦  
(TEL 0538-84-2200)

**2023年12月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異および  
2023年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2023年2月14日に公表しました2023年12月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表しました実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また併せて2023年12月期通期業績予想も修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

**1. 2023年12月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異について**

**第2四半期連結累計期間 業績予想値と実績値との差異 (2023年1月1日～2023年6月30日)**

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,230	921	895	610	258.27
今回修正予想(B)	6,745	892	868	582	246.27
増減額(B-A)	485	28	26	27	-
増減率(%)	6.7	3.1	3.0	4.6	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	6,971	967	1,008	686	292.00

**第2四半期個別累計期間 業績予想値と実績値との差異 (2023年1月1日～2023年6月30日)**

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,616	666	467	197.97
今回修正予想(B)	4,119	564	382	161.81
増減額(B-A)	497	102	85	-
増減率(%)	10.8	15.4	18.2	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	4,454	674	472	199.90

## 2. 通期業績予想値の修正について

### 通期 連結業績予想数値の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,359	2,132	2,129	1,435	607.58
今回修正予想(B)	13,894	1,697	1,729	1,151	486.27
増減額(B - A)	1,465	435	399	283	-
増減率(%)	9.5	20.4	18.8	19.8	-
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	14,586	2,056	2,116	1,433	608.22

### 通期 個別業績予想数値の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,789	1,591	1,116	472.58
今回修正予想(B)	8,574	1,202	830	350.69
増減額(B - A)	1,215	389	285	-
増減率(%)	12.4	24.4	25.6	-
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	9,314	1,534	1,094	464.33

## 3. 主な修正理由

当社グループは二輪車の部品、用品の企画、開発、販売を主体としており、コロナ禍において密を避けるレジャーや移動手段として新規免許取得者の増加や好調な車両販売などの市場環境を追い風に大きく業績を伸ばしてまいりました。

新型コロナウイルス感染症法の5類への引き下げに伴う行動制限等の緩和により、旅行、飲食など余暇時間の利用や消費行動に大きな変化が見られるようになり、新規二輪車ユーザー等の購買需要も落ち着き、取引先流通各社では在庫調整の動きが強くなっております。

二輪車免許取得者や二輪車販売台数の状況からバイクライダーは確実に増加していると推定しておりますが、流通各社の在庫調整はしばらく時間がかかるものと思われまます。

こうした環境の変化を受け、第2四半期累計期間においては、国内拠点卸売事業の出荷減少、小売事業の来店客数の減少等により、売上高、利益共に当初予想を下回る状況となりました。

その他事業においては、太陽光発電事業の設備の計画入替による売電収入の減少、セグメント利益の減少となりました。リユースWEB事業においては、売上高は前年同四半期並となりましたが、人件費の増加によりセグメント利益はマイナスとなりました。

一方で、アジア拠点卸売事業においては、インドネシアでの販路拡大の進展と共にデイトナブランドの認知や商品の支持が進み、販売を大きく伸ばしております。売上高が大きく伸びたことでセグメント利益も大幅に増加しました。

通期の業績予想については、昨年から進めてきた国内市場の価格改定や新商品投入による売上増加を見込んでおりますが、現状の市場環境の変化や流通各社の在庫調整の状況などから、当初の予想を引き下げております。

一方で、アジア拠点においては、出荷物量の増加に伴うオペレーションの改善が課題ではありますが、

引き続き販売エリアの拡大や新商品投入を進めており、今後も順調な推移となる見込みです。

物価上昇や新型コロナウイルス感染症の増加傾向、為替の動きなど業績予想の前提となる環境変化が大きい状況ですので、今後の環境変化を注視しながら、修正が必要であると判断した場合は速やかに修正して公表いたします。

配当に関しましては、業績、財政状況など総合的な判断とする方針に基づき、現段階では修正はございません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取りまく環境、経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績が現状の見通しと大きく異なる可能性があることを御承知おきください。

以上